

第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画・認知症施策推進計画 (よこはま地域包括ケア計画)について

第9期計画の構成案

健康福祉局 高齢健康福祉部 高齢健康福祉課

2023年6月15日(介護保険運営協議会資料)

よこはま地域包括ケア計画とは

老人福祉法・介護保険法に基づき策定する「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、高齢者に関する保健福祉事業や介護保険制度の総合的な計画です。

加えて、国の認知症施策推進大綱に基づき、「認知症施策推進計画」を本市が独自に策定しています。

これら3つの計画を合わせて「よこはま地域包括ケア計画」としています。

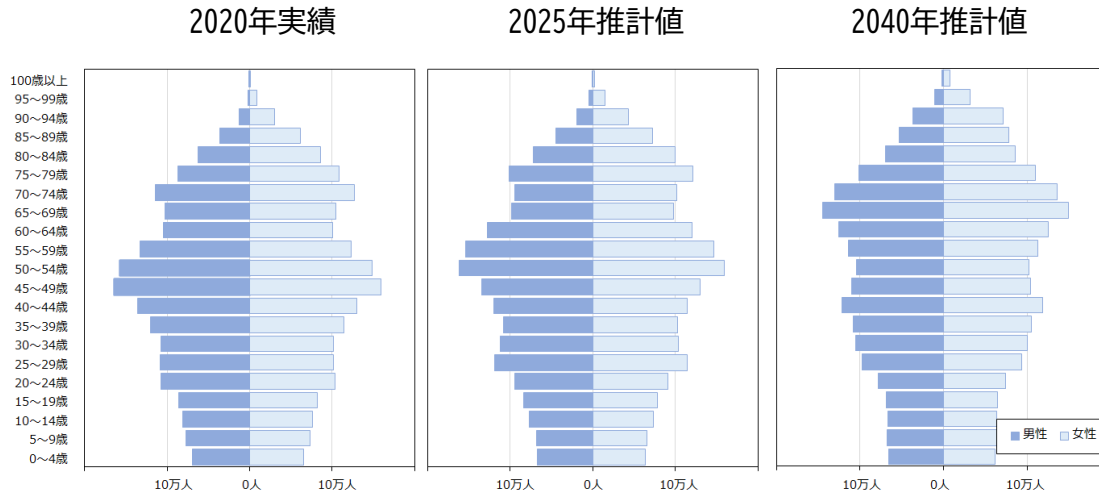
この計画に基づき、3年間の

- 高齢者施策の方向性
- 介護保険サービスの見込量（施設整備方針等含む）
- 第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料 等を決定します。

次期 第9期計画期間

令和6年度～令和8年度（3年間）

■人口構造の変化



2020年からの**5年間**で

- ・ 高齢者人口は4.2%増加
- ・ 生産年齢人口は0.8%減少



20年後の**2040年**には

- ・ 高齢者人口は28.4%増加
- ・ 生産年齢人口は15.1%減少



高齢者数は、加速度的に増加

一方で・・・

生産年齢人口は、減り続ける

高齢者人口
(65歳以上)

約**95**万人

約**99**万人

約**122**万人

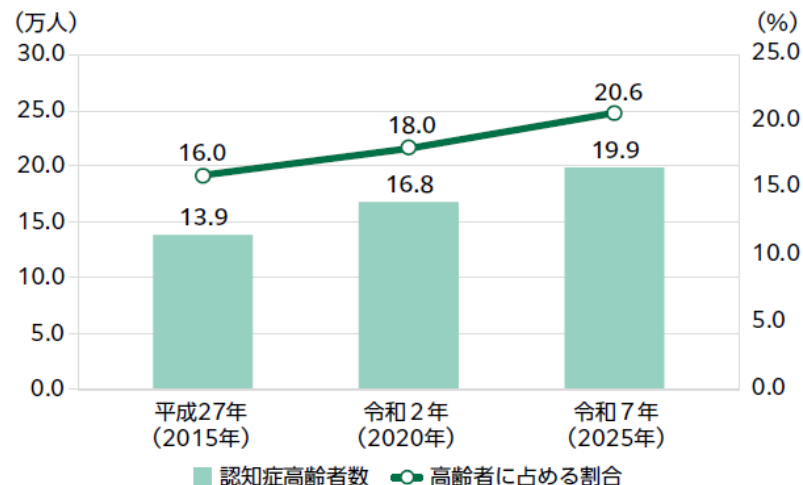
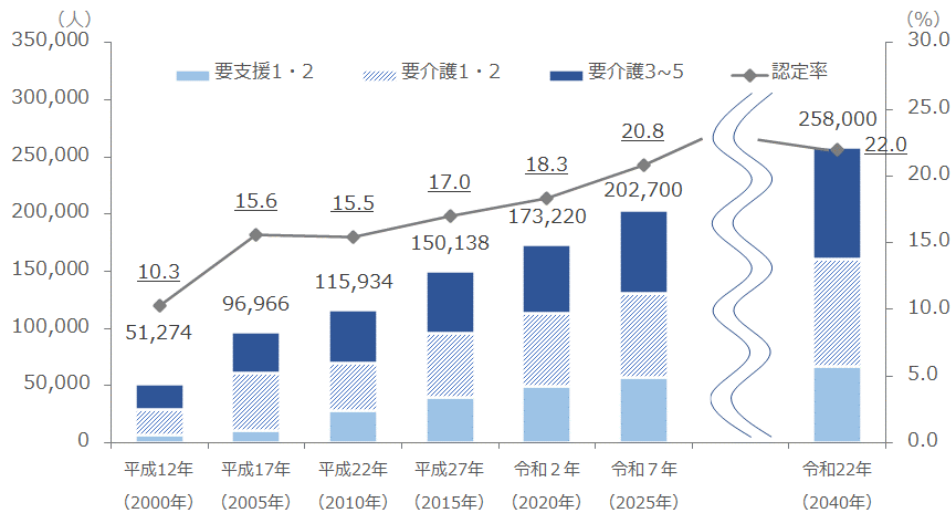
生産年齢人口
(15~64歳)

約**239**万人

約**237**万人

約**203**万人

■要介護認定者・認知症高齢者数の増加



要支援・要介護認定者数は・・・
2025年には約20万人、2040年には約26万人に増加

認知症高齢者数は・・・
2025年には約20万人に増加

生産年齢人口が減少する中、介護・医療ニーズのさらなる増加が見込まれる

■第9期計画に求められる視点

今後、介護・医療ニーズの増加が見込まれることから、介護サービスのさらなる充実のほか、認知症施策や介護人材の確保・定着に向けた取組を一層推進していきます。

また、深刻な介護人材の不足に対しては、ICTや介護ロボット等の活用、申請手続のデジタル化等による**介護現場の生産性向上に向けた取組**を推進する必要があります。

さらに、地域包括ケアシステムの構築・推進のため、**各種データの活用・分析に基づき、効果的な施策を立案・推進**していくとともに、地域における支え合いの推進や、誰もがいくつになっても自分らしく暮らすための意識・心構えも重要と考え、**市民意識の醸成に向けた取組も推進**していきます。

視点	主な具体的取組内容
介護現場の生産性向上に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none">▶介護ロボット・ICT等の介護現場への導入支援▶申請手続のデジタル化等による、介護現場の負担軽減
データの活用と効果的な施策の立案・推進	<ul style="list-style-type: none">▶医療介護保健統合データベースを活用した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の推進
市民意識の醸成に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none">▶高齢期の暮らし選び応援サイト「ふくしらべ」の拡充▶エンディングノート等の本人の自己決定支援に係る取組の推進

第9期計画の構成案（抜粋） ※詳細（構成案全体）は別紙参照



現行（第8期）計画の施策体系

I 地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指して
II 地域生活を支えるサービスの充実と連携強化を目指して
III ニーズや状況に応じた施設・住まいを目指して
IV 安心の介護を提供するために
1 新たな介護人材の確保
2 介護人材の定着支援
3 専門性の向上
V 地域包括ケア実現のために
○意識醸成・広報啓発等の施策
○介護サービスの適正化・質の向上等の施策
VI 自然災害・感染症対策
認知症施策推進計画

次期（第9期）計画の施策体系

I 自分らしい暮らしの実現に向けて	1 高齢期の暮らしに必要な情報の発信と啓発
	2 切れ目のない相談体制と市民の利便性向上
II 生き活きと暮らせる地域づくりを目指して	
III 在宅生活を支えるサービスの充実と連携強化を目指して	
IV ニーズや状況に応じた施設・住まいを目指して	
V 安心の介護を提供するために	
1 介護現場の生産性向上	
2 新たな介護人材の確保	
3 介護人材の定着支援	
4 専門性の向上	
VI 安定した介護保険制度の運営に向けて	
1 介護サービスの適正化・質の向上	
2 緊急時に備えた体制整備・物資調達	
3 防災・感染症予防対応力の向上に向けた研修・啓発	
認知症施策推進計画	

施策に共通の視点

データ活用・DXの推進

【主な見直し】

I：市民に関わりの深い施策（意識醸成や相談体制、手続等の利便性向上）を施策の1つとして集約

V：「介護現場の生産性向上」を介護人材確保施策に位置付け

VI：給付適正化や災害対策等、制度・体制確保に関する施策を集約

共通事項：データ活用・DXの推進の視点をもって取り組む